1月15日にフフホトから二連　経由でウランバートルに到着。フフホトからウランバートルまで国際列車、1070元。

モンゴル国境を越えてザミウドに入りました 。列車内でモンゴル自治区のモンゴル人と知り合いました。
彼の話はとても興味深かった。
彼は今年37歳もちろん中国語、モンゴル語を話すことができます。（内モンゴル自治区のモンゴル族）
以前約7年間福建省にある鉱物資源開発企業におい福建からきた総経理の秘書をしてモンゴルで仕事をしていました。
福建省の会社のやり方があまりにもモンゴルの実情と合わないため、辞職したということです。
理由 モンゴル人と中国人の生活習慣、考え方、文化風習を考慮しなかったため、仕事上いろいろなことで矛盾、問題が発生して中国人、モンゴル人の間で板挟みとなり、耐えられなかった。中国人のモンゴル人に対する扱い、商売に対する道徳心の欠如に失望。
中国人がモンゴルで仕事をするに当たってはモンゴ現地の法律、法規、文化習慣風習を理解して行わなければいけないことを学んだということです。
彼の話は久保田塾でいつも久保田先生がおっしゃるっていることと同じことを言っていましたので興味深かったです。
とにかく彼らの話を聞いていて外国人が中国で生きて行くための参考になると思いました。
内モンゴル自治区のモンゴル人はあまり中国の社会の表舞台には出て来ませんが、少数民族としては人口が多い。（新疆にいるウイグル人の比ではない）
モンゴル人は同情達理 という言葉が当てはまるということです。中国人は同胞に対して厳しく外国人に対しては比較的優しいということもも言っていました。
あと、モンゴルの教育制度は日本中国とも違うようです。
モンゴル人の特徴を下記に示します。
（中国モンゴル族の李さんの話、李さんも内モンゴル自治区から外モンゴルに来て、外モンゴルの奥さんと結婚式して初めてのわかったこと。）
1、ニンニクなどを食べた時にはガムなどを食べて、匂いを消す。（エチケット）あまりニンニクを食べる人がいない。

2、トイレなどは綺麗に使う。中国からの列車に乗っていてわかったのですが、トイレなどは明らかに中国よりも綺麗に使われています。次にくる人のことを考慮して綺麗に使うらしいです。中国人も見習わなければならない。中国人は30%はレベルの高い人たちだが残りの70%はレベルの低い人たちである。外国人に対してはこの70%の人達が漢族として受け取られてします。日本にもレベルの低い人たち人達がいるが、多くの人はレベルが高い人である。

3、友人の結婚式などに参加する時はシャツなどにアイロンをかけてきちんとした服装で友人の結婚式式に参加する。男は洗濯などはしない、すべて奥さんが選択をする。漢族の場合は結婚式式に参加するときは運動服などをきて参加する人もいるが、それは礼儀がない人として受け取られてします。モンゴル人社会ではあまりない。（李さんも中国からモンゴルに来てから奥さんに注意されたということです。）
以上の話を聞いたあと、モンゴル人と日本人は比較的似ているところがあると思われます。これは大変興味深く思います。
16日の晩飯はモンゴル族の李さんがご馳走してくれました。彼の経営する中華料理店はすでに6年目、現在の毎月の売上は30万元利益は15万元ということです。（大陸の中国人のがモンゴルにきて中華料理店を開くのはウランバートルでは珍しくないということです。街ではよく中華料理店を見かけました。）

モンゴルで家を購入する場合は一平米あたり約1万元。街はほぼ日本の中古車で溢れています。

ウランバートル市内
車で交通渋滞。

中国からウランバートルに向かう列車
の車窓からの風景。山ばかりでなにも
ない

市内国営デパート。ヨーロッパからの製品もかなりある。

モンゴル国会議事堂。チンギスハーンの銅像は立派だった。